



# 商店街(改)



コメディ

森野イブキ

最近シャッター通り商店街という言葉があるほど、近頃の不景気は大変なのであります。ここでは、そうしたある商店街の一コマをひとつ披露してみたいと思います。

八助「やあやあ、熊さん。最近の景気はどうだい？」

熊平「これは八つつあん。いやあ、よくないねえ。安い魚しか売れないよ。刺身もトロより赤身って感じだなあ」

八助「赤身かい？ それで赤字だったら苦労はないわなあ。わっはっは！！」

熊平「笑い事じゃないよ、八つつあん！こちとら、死活問題なんいでい。そういう八つつあん、どうなんいでい？最近の客の入りようは？」

八助「ああ、それがねえ……。最近の客は安いメニューしか頼みやがらねーんだ、これが。以前なら、ワンランク・アップのメニューだったのが、今じゃ、一番安いメニューが中心だぜ。せめて、ギョウザくらいつけろってーの！」

熊平「不景気だなあ」

八助「不景気だねえ」

熊八「で、誰が悪いんだよ、この不景気は。やっぱ、政治か？ 今のお馬鹿総理かい？」

八助「ま、それもあるけどな。発端は、アメリカさんの方が影響してるらしいぜ」

熊平「本当かい？ アメリカさんのせいかい？ そりゃ、とんだとぼっちりだな」

八助「本当だよ。たまんねえよな」

熊平「じゃあよ、うちの赤字をアメリカさんに補填してもらおうってのは、どうだい？」

八助「それが出来たら、俺だってやってらあ。まったく、やってらんないよ。今日び、普通のラーメンじゃ、客は見向きもしねえ」

熊平「そうだ！ それじゃあよ、うちの海鮮食材を使って海鮮ラーメンなんてどうだい？」

八助「海鮮ラーメンかあ……。そりゃあ、いいな……。って、ちょっと待て。

そりゃ、熊ちゃん所の売上げが上がるだけなんじゃねーか！」

熊平「はっはっは！ ばれたか！ でもよう、うまくしたら、二人でウハウハ出来るかも知れないぜ？」

八助「俺は、だまされないぜ！ その手に乗るかってーの。熊ちゃんの口八丁、テ八丁で痛い目にあたって話ってーの、聞ってるぜ」

熊平「いやいや、そんな事ないって」

八助「いやいやいや、俺っちの情報にや、間違いないぜ」

熊平「いやいやいやいや、そんな事あるってーの」

八助「いやいやいやいやいや、そんな事あるって」

熊平「いやいやいや……。」

八助「いやいやいや……。」

こうして、熊平と八助のやり取りは日が暮れるまで続きましたとき。（店そっちのけで）

(終わりでございます。)